

2023 人権ポスター・標語 入賞作品

(応募総数 ポスター 537点・標語4.302点)

12月9日、サンシャインホールで「人権尊重ポスター」と「人権標語」の特選及び入選作品の表彰式を行いました。

小学校高学年の部



特選 濱田 紗妃(津名東小4年)



入選 高田 紗楠(北淡小5年)

2023人権標語【高等学校・一般・PTAの部】



入選 前田 はな(浦小4年)



入選 佐奈喜 琉乃(志筑小6年)

住作 見直して あなたが思う 当たり前住作 その言葉 面と向かって 言えますか?住作 見た目やない 内面こそが ホンマもん

佳作 人権を 親に教わり 子に教え

佳作 あいさつが 心のマスクを はずします

淡路高等学校 1 年 堺 愛斗

 学習小学校 PTA
 流上
 おかい きょかず 酒井
 きょかず 清一

学習小学校 PTA 酒并 清一学習小学校 PTA 圖田 恵美

まの よしのぶ 石屋小学校 PTA 小濃 良正

の応募をいただきました。ありがとうございました。 人権文集「こころ」第19集が完成しました。市内保育所(園)・認定こども園、小中学校及び高等学校から多く

たいと思います。 療機関にもお届けします。また市内の図書館(図書室)にも置いていますので、ぜひ多くの方に読んでいただき 文集「こころ」は、市内小中学校の児童・生徒の全家庭に配布するとともに、市内の各公民館、地区事務所、医

「大切な家族

池本 藍 がまれる 東小学校 三年

かたしには一人、妹がいます。 をようだいがいたけど、わたしたはいなかったので、妹が生まれる前は、まわりの友だちには弟や妹などのにはいなかので、妹が生まれると聞いたときは、「わたしもお姉ちゃんになるんだ。楽しもお姉ちゃんになるんだ。楽しいました。

なりました。二人であまりおんは妹のお世話でいそがしく妹が生まれてから、お母さ

したとき、

妹は、自分がわるいことを

「あいきがわるい。」 「あいきがわるい。」 することがあります。そのせいで、わたしかおことがきらいになさることもあるけど、本当は大きさは妹のことがきらいになって、かたしのせいにするときがあることもあるけど、本当は大きがわるい。」

たから、手じゅつもがんばれまたしたので、十日間入いんしてくれたり、心配してくれておうえい、動画を送ってくれておうえいをしたので、十日間入いんしてくれたり、動画を送ってくれたりが、動画を送ってくれたりして

した。わたしがたいいんして家に帰ると、妹がげんかんまでに帰ると、妹がげんかんまでたくない?」
たくない?」
たくない?」
たってきて、かいじょうぶ?いたくない?」
たっかったわってきて、わたしたのがったわってきて、わたした。

は、わたしのたから物です。お姉ちゃんになって、いっぱおがまんすることがあるし、いがまんすることがあるし、いがまんすることがあるし、いがまんすることがあるし、いっぱお姉ちゃんになって、いっぱ



【地域とともに育つ 中田っ子】

学年をこえて、元気に運動場 び合い高め合う中田っ子の 動もさかんです。 年の児童がグループになって られ、高学年の児童と低学 で遊ぶ子どもたちの姿が見 推進しています。休み時間は もに支え合う仲間づくりを 育成」のもと、ともに伸び、と 校は、学校目標「認め合い学 緒に活動するたてわり活 全校児童82名の中田小学

域の方の学校に寄せる期待 また、中田小学校では、地

りました。普段なかなか体験

解け会話がはずむようにな

学校と地域が一体となった防 地域防災訓練に地区の公民 お招きして授業を行ったり、 は大きく、学校と地域が協 災訓練を実施したりしてい 館長や町内会長をお招きし、 しい地域の方を講師として 田地区の祭りや歴史にくわ 学年の地域学習において、中 育てる取組がさかんです。各 力して子どもたちを見守り、

らに推進するために、初めて いいのかわからず戸惑う場 です。最初、子どもたちは地 を教えていただく交流活動 域の方を講師としてお招き 活動をする中で次第に打ち 面も見られましたが、ともに 域の方とどのように接したら し、子どもたちに手作りかば した。「ふれあい参観」は、地 んや水墨画、囲碁ボールなど 。 ふれあい参観」を実施しま 今年度は、地域連携をさ

> た。 が絶えない子どもたちでし できない活動を地域の方と 楽しむことができ、終始笑顔

子を育成していきます。 愛着と誇りを持てる中田 推進し、「ふるさと中田」に とともにある学校づくり」を 地域と連携しながら「地域 これからも、中田小学校は

方法です。

手話や、ろうあ者の

このコーナーでは

生活等を紹介します。

が日常使用している

手話は、ろうあ者

コミュニケーションの



ふれあい参観

『人工内耳と暮らす③』

ても頭から離れませんでした。 以前に音を聞いたことがある 世界で生活してきましたが 声を聞きたい」と思ったこと を決めたのは、「大切な人の が人工内耳を装用すること 私にとっては、「音とともに生 失聴してから約20年、無音の だった私が中学時代に完全 あったからです。中等度難聴 楽を聴きたい」という想いが と「幼少時から好きだった音 てもたくさんありますが、私 不便さは人工内耳を装用し きたい」という想いがどうし コミュニケーション面での

ろうあ者の日常生活を知ろう③ 1 2

りに聞くことができるように 歌うことはできません。 音程は正確には拾えないので した。しかし、人工内耳でも なって、楽しみが1つ増えま 大好きだった音楽もそれな 八工内耳を装用してから、

ません。 てしまい綺麗な音には聞こえ る合奏になると、騒音になっ ストラなど様々な楽器が混じ 綺麗に聞こえますが、オーケ また、ピアノソロの演奏は

探すことも楽しんでいます。 同様に音楽を楽しむことは できませんが、自分が「綺麗 心地よい」と思える音楽を このように、聞こえる人と

んと ぽわ

第 60

両手を向かい合わせ て立て、指揮をする ように同時に左右に

音楽

協力:淡路聴力障害者協会 手話サークル津名



第1回 淡路市じんけん市民講座

講演会を開催しました。 9月27日、淡路市役所で関西大空名誉教授の石元清英さんを講師啓発の課題~『人権問題についての啓発の課題~『人権問題についての啓発の課題~『人権問題についてのという。

た。」との感想がありました。アップデートが重要だと感じました変化しているものもある。情報のに変化しているものの、一部悪い方かりしてきているものの、一部悪い方がりしてきているものの、一部悪い方がりしてきているものの、一部悪い方に、「人権意識がしっ



第3回 淡路市じんけん市民講座

11月8日、淡路市役所でうるわいさんを講師に迎え、「性的マイノルさんを講師に迎え、「性的マイノルでんを講師に迎え、「性的マイノルをが、

参加者からは、「頭では理解したの感想がありました。」といろ考える機会となりました。」といろ考える機会となりました。」といろ考える機会となりました。」といろ考える機会となりました。



第2回 淡路市じんけん市民講座

講演会を開催しました。

10月18日、淡路市役所で公益財団法人とよなか国際交流協会の三団法人とよなか国際交流協会の三

を加者からは、「多言語表記には を加者からは、「多言語表記には を加さしての効果だけではなく、承 ではなく、でこぼこの道を平らに ではなく、でこぼこの道を平らに がずした。」「支援や取組は特別扱 ではなく、でこぼこの道を平らに がずること、という言葉はいいと思っ



第4回 淡路市じんけん市民講座

講演会を開催しました。 「母娘で問うた部落差別」と題し長の坂田かおりさんを講師に迎え、長の坂田かおりさんを講師に迎え、根の盟鳥取県連合会女性部副部が同盟鳥取県連合会女性部副部の場合が、

参加者からは、「部落差別についるが、それにより差別発言しているしまうこともある事が分かった。」しまうこともある事が分かった。」「現在も部落差別はある。差別する側の意識を変えることが重要だと思いました。」

淡路市人権を考える集い

ただきました。 行われ、多くの方に参加をい 内作業所による物品販売も よる啓発グッズの配布や市 ロビーでは、人権擁護委員に 及び記念講演を行いました。 ポスター・標語の入選者表彰 し、応募いただいた人権尊重 の人権週間に合わせて実施 シャインホールにて開催しま 考える集い」を淡路市立サン した。12月4日から10日まで 12月9日、「淡路市人権を

ていきます。 るごとじんけん」にて紹介し 入賞作品は、随時本冊子「ま 人権尊重ポスター・標語の



記念講演の様子

でけへんことはない 子育てで男に

授乳を含め子育てはお父さ んで全部できます。 出産は、男にできないが

共働き世帯の男性の家

〜笑って考えるワーク・ 男性の家事が社会を救う? ライフ・バランス~

講師に迎え、男女共同参画 ました。 の観点からお話しいただき 学院教授の瀬地山 角さんを 記念講演は、東京大学大

りも担当されたとのことで ですが、ご紹介します。 熱い思いをご講演いただき 家族・仕事のあり方について えながら、これからの時代の 論の研究者であり、お子様2 ました。紙面の都合上、少し した。ご自身の体験談を交 一手に担われ、毎日の夕食作 人の保育園の送迎を10年間 瀬地山さんは、ジェンダー

事・育児時間は少なすぎま が痛い言葉」ではなく、「社 会的に」問題にすべき水準で す。これは、男性が聞いて「耳

ますか?」と、子育てや介護 が熱を出した時に残業でき 繋がります。 し、男性には聞きません。男 について女性の時だけ質問 社は、子育てできない社会に 性の子育てに関心のない会 企業の面接で、「お子さん

おじいさんは山へ…、おば

当てる! ジャンボ宝くじを

ことがなぜ広まらないので 30万円働き、夫が00時間家 業するのは無理なので、妻が す。女性が出産した後も正 てる方法は、夫婦の共働きで 事をする。こんなに合理的な ぎます。月に25万円夫が残 社員で働くと、1~2億円稼 ジャンボ宝くじを必ず当

乗り越えよう みんなで少子高齢化を

とで、高齢者は減少します。 70歳に年齢を引き上げるこ 簡単です。それは、65歳から 日本人なら耳なじみのある 高齢社会が来ない方法は

の?._ と、こんな質問が出ます。 昔話。外国籍の生徒に話す あさんは川へ…」という日本 「じゃあ、息子は何している

働く場所だけです。 そう、中国や台湾では、高齢 られています。足りないのは が働くことは社会的に認め 潰れると考えられています。 く思われず、息子のメンツが 者が働くことは社会的に良 しかし、日本では、高齢者

労働者不足が解決します。 することで、社会問題である 齢者②女性③外国人を雇用 働き手を増やすには、①高

[-00000-]

何が当てはまると思います 〇〇〇!」この〇の中には、 孫育ての基本は、「〇〇

とだけ。自分の孫の面倒を 子が家事や育児をしないこ す。口を出していいのは、息 見るから、口を出してしまい それは、「くちだすな」で

繋がります。 そのお金を自分の孫に使って を面倒を見て、お金をもらい あげるのが一番良い解決策に それなら、他所の家の孫

事が社会を救うお話の中で なりました。 考えさせられるひとときと ユーモアを交え、男性の家



©HONOTAdesign

する国民の理解 女共同参画プランで性的マ 点施策として掲げています。 透と制度の整備・運用を重 に策定した第3次淡路市男 イノリティに関する理解の浸 イデンティティの多様性に関 性的指向及びジェンダーア また令和5年6月には 淡路市では、令和5年3月

すでに1組のカップルが宣

月1日から実施しており、

誓をしています。

シップ宣誓制度を本年1

本市では、パートナー

は、事業主にも雇用する

LGBT理解増進法で

ノリティの方への理解を深 2働者に対して、性的マイ

講ずるよう努める めるための措置を

進法が施行さ る国民の理解の の多様性に関す とジェンダーア 体は「性的指向 れ、地方公共団 法律」いわゆる の増進に関する イデンティティ LGBT理解增 人権の説 No. 71

制度について」 拓也

本市では性的マ

淡路市市民生活部長 奥田 の団体等を淡路 る事業所、その他 的に取り組んでい 理解と支援に積極 こととされていま イノリティの方への

できる社会をめざします。 性的マイノリティの方の不 きます。取り組みを進め や事業所等を公表してい に認定し、認定書の交付 て日常生活を営むことが 安などを軽減し、安心し ている事業所等を応援し、 レンドリー事業所

されており、住居や職業など

社会からの偏見、差別にさら

性的マイノリティの方は、

に直面している場合もあり たり、さまざまな困難や不安 を含め日常生活を送るにあ 策を策定、及び実施に努め

る。」と規定されています。

増進に関する施

市 LGBT Q+フ

シップ宣誓制度」を1月1日 から開始しました。 市が結婚に相当する関係と 的マイノリティのカップルを 公認する「淡路市パートナー 双方又はいずれか一方が性

受領証の交付を行いました。 となられたカップルへ宣誓書 1月9日には、宣誓第1号

号カップルが宣誓

喜びをかみしめられていまし になれたと実感できた。」と、 人は、「ちゃんとパートナー 受領証を受け取ったお一

減するため、阪神・丹波地域 の転出入手続きの負担を軽 現在、淡路市では、宣誓者

の9市1町と連携協定を結

携する予定です。 京都の地方公共団体とも連 4月からは、新たに大阪

れる社会の実現をめざしま い、誰もが自分らしく生きら 今後も、多様性を認めあ



みなさんの

おたより図 最初はむずかしかったけ (クロスワードパズルが)

●年賀状書きながら思った

こと。家事をしない男性の

初に書いた字がヒントに ど、うまっていったら、最 なってすらすら書けました。

> の減り方と同じ。(70歳) 減り方、年賀状を出す数

(11歳)

《タテのカギ》

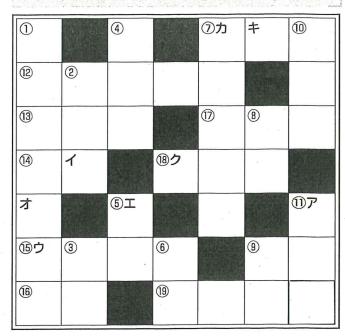
- ①教育課程をすべて修了したことを認め、 それを祝う式典。
- ②薄い鉄板に亜鉛メッキを施した板状の 建築材。
- ③遊びに使う弾力のある球(たま)。
- ④名をあげて人を指定すること。
- ⑤夏に咲く花。根は食べられる種類と、 食べられない種類がある。
- ⑥心がひかれること。気に入ること。
- ⑦演奏会。音楽会。
- ®ラクダ科の哺乳類。ラクダに似ているが 背にこぶはない。
- ⑨♪信じることさ 必ず最後に愛は○○♪。
- ⑩性的マイノリティの人達を理解し 支援する人。
- ⑪いくつかに分かれること。



《ヨコのカギ》

- ⑦カカオの種をいって粉にしたもの。それを とかして飲む飲物。
- ⑨金属製の容器。材料により、スチールや アルミなどに分かれる。
- ⑫官公庁や団体、企業などに勤めている人。
- ③生物が他の動植物や周囲の生物以外のものに似せた色彩、形、姿勢をもつこと。
- ⑪紙のサイズでAOOやBOOなどがある。
- ⑮リス科の哺乳類で背面に五本の黒色の 縦縞がある。
- ⑩細かい水滴が、地面・水面近くに集まって、 煙のようにかかる現象。
- ⑪宿や家を意味しているペルシャ語。
- 18000は一日にして成らず。
- ⑩木の幹にとまり、鋭いくちばしで 幹の中にいる虫を食べる鳥。

クロスワードクイズ



★8文字 (ア〜ク) でできる言葉が答えです。

アイウエオカキク

ヒント→第19集を発行しました。 (2ページをご覧ください)

クイズの答え、住所・氏名・年齢 (学年) とご意見・ ご感想・イラストなどをハガキに書いてご応募くださ い。正解者の中から抽選で図書カードをプレゼント します。

【あて先】〒656-2292 淡路市生穂新島8番地 淡路市 市民生活部 市民人権課内 クロスワードクイズ 係

【しめきり】 2024年4月30日(火) (当日消印有効)

※当選者の発表は発送をもって代えざせていただきます。

゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚		³ ₹	サ	^{⑤カ}		(E)
加力	2	ヤ	イン	マ		#ジ
	® ス	111	タ	1		ラ
^⑦ シ		[®] ネ	ク	タ	エイ	
		力		チ		(D)
¹⁵	® チ		_		^{⑨ア}	シ
[®] ク	セ		プス	カ	1	

第70号の答え「ダンセイノカジ」(男性の家事)

2023 人権ポスター・標語入賞作品

小学校高学年の部

※中学校の部は次号に掲載します。



生作 太田 啓介(学習小5年)



佳作 武田 美乃(大町小6年)



佳作 森 幹太(浦小4年)



佳作 中川 陽葵(塩田小5年)



佳作 野上 侑愛(北淡小6年)

2023 人権標語【小学校高学年の部】

特選 他とちゃう めっちゃええやん 個性やん

入選 一声で 心も顔も スマイリー ☺

入選 もどせない その日のその時 大切に

入選 顔を上げ 空を見上げて しんこきゅう

佳作 みなちがう 個性の花が 光ってる

生作 男らしく 女らしくより 「キミらしく」

佳作 笑顔には ふしぎな力 むげん大

佳作 **自分から 笑顔のパスを 始めよう!**

佳作 マスクなし みんなの笑顔 みつけたよ

志筑小学校6年 正木 瑛人

一宮小学校5年 髙崎 稟那

北淡小学校5年 加古原 健

石屋小学校5年 吉田 匠

津名東小学校5年 林 勇輝

中田小学校4年 横 有厳

浦小学校6年 仲野 羽琉

多賀小学校5年 後谷 結花